

「東バイパスライナー」について

1．東バイパスライナーについて

(1) 実証実験結果 (9 月 ~ 1 1 月分)

日別の利用者数

日別の利用者数は、長嶺発が169人/日、西部車庫発が平均178人/日、合計で平均348人/日となっている。

1便あたりの利用者数は、9月が平均6.8人/便、10月が平均7.7人/便、11月が平均7.2人/便で、実験期間中の平均で7.3人/便となっている。

実験期間中の利用者数の合計は、20,554人となっている。

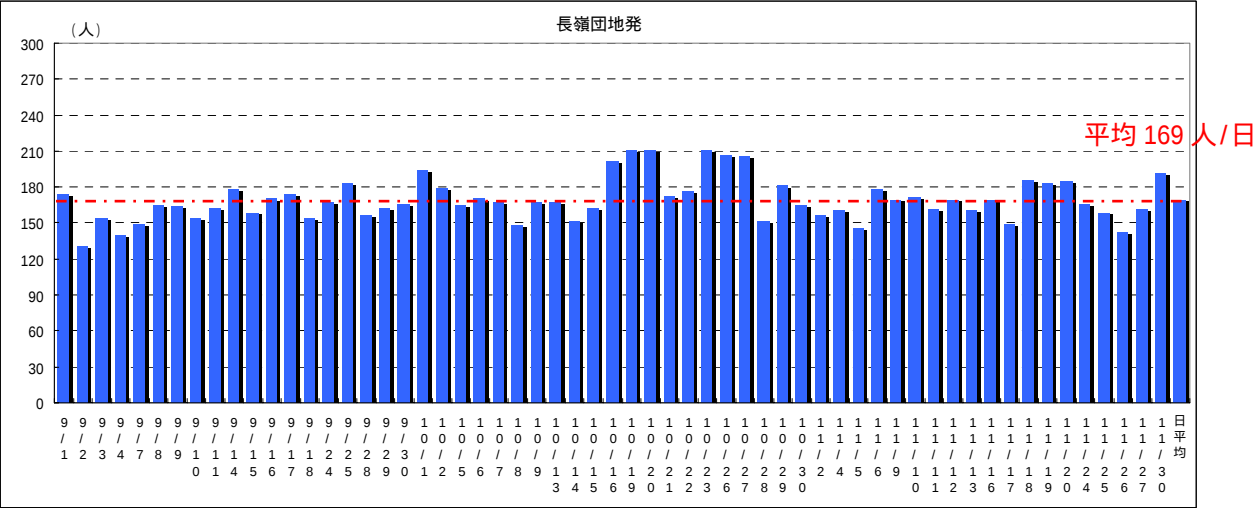


図 1 長嶺団地発の日別利用者数

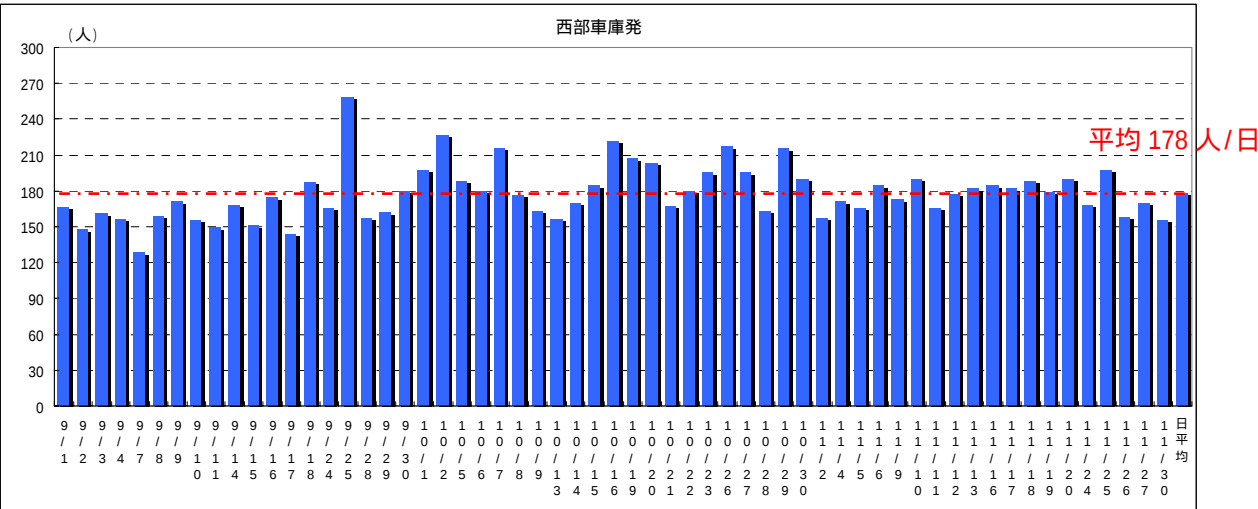


図 2 西部車庫発の日別利用者数

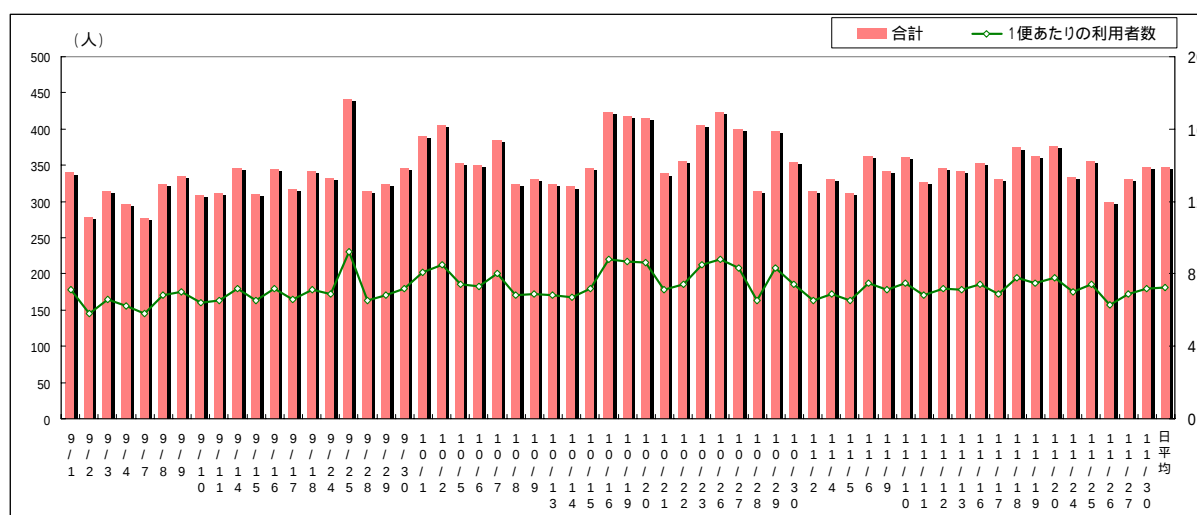


図3 日別利用者数（合計）と1便あたりの利用者数

便別の利用者数

長嶺団地発の便別利用者数は、7:15 発の便と 7:45 発の便が多く、1 便あたりの利用者数が 10 人を超えている。一方、19:45 以降の便は 2 人/便程度と少なくなっている。西部車庫発の便別利用者数は、7:15 発の便が約 19 人/便と最も多く、その他昼間帯においては、5～9 人/便となっている。

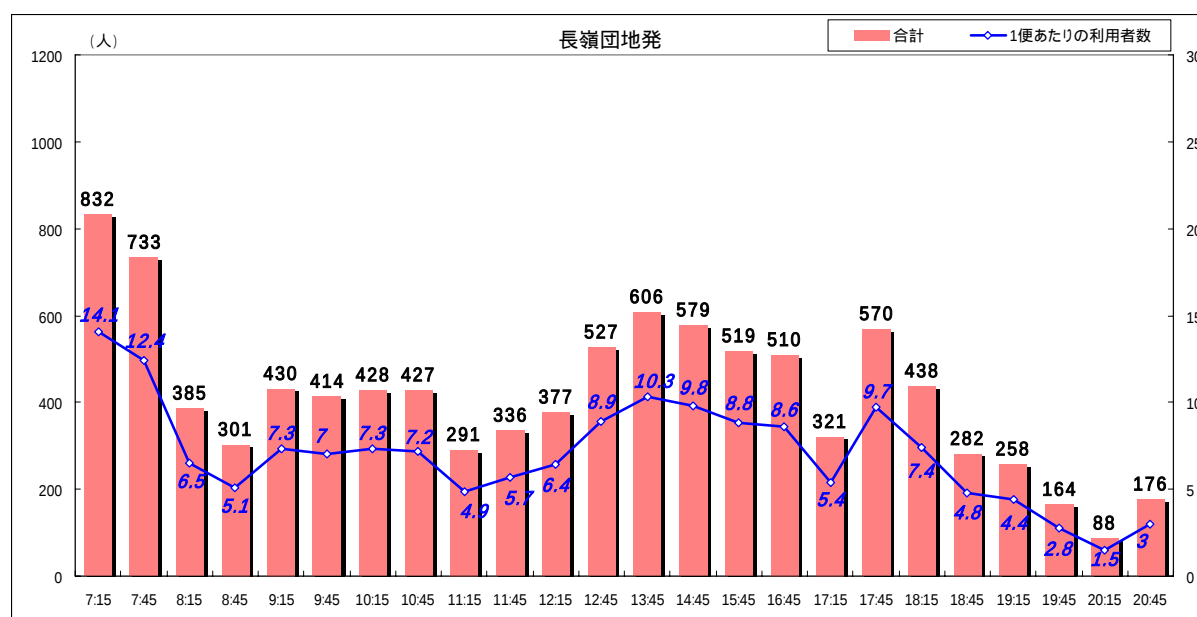


図4 長嶺団地発の便別利用者数

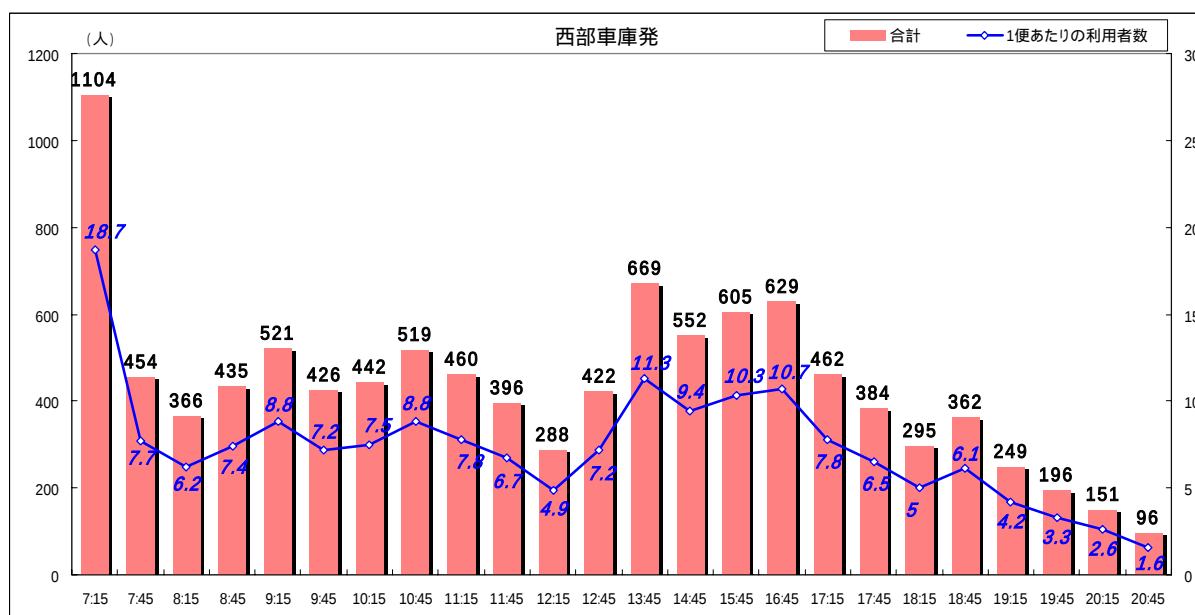


図5 西部車庫発の便別利用者数

日別の乗継割引発券数

乗継割引発券数は、1日あたりの平均で46枚/日であり、1便あたりの利用者数の平均は1枚となっている。

実験期間中の乗継割引発券数の合計は、2,706枚となっている。

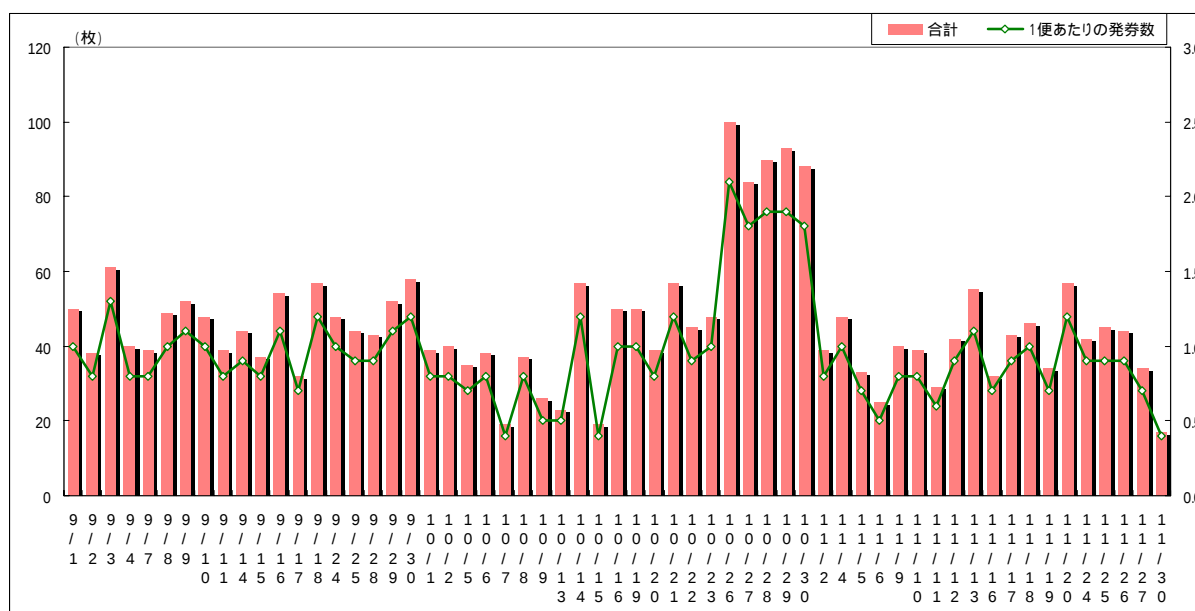


図6 日別の乗継割引発券数

収支状況

東ＢＰライナーの収支の状況は、９月が約４３０万円のマイナス、１０月が約４６０万円のマイナスといった状況である。

表１ 東バイパスライナーの収支の状況（単位：円）

	収入	支出	収支	１人当たり支払額
９月	885,497	5,198,400	▲ 4,312,903	143
10月	1,136,928	5,745,600	▲ 4,608,672	147
11月				
計				

支出は、運行便数に対して、路線延長 19 k m、1 k m当りの経費の単価 300 円を乗じて算出

アンケート調査結果

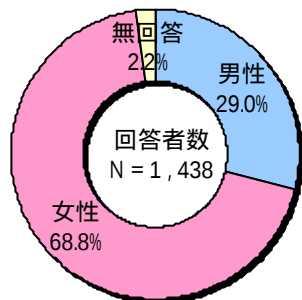
（アンケート調査の概要）

- ・調査方法：調査員による聞き取り調査
- ・調査内容：属性（年齢、性別、住所）、出発地・目的地、東バイパスライナーの乗降バス停、乗車バス停までの交通手段、降車バス停からの交通手段、利用目的、乗継時の問題点、路線設定・運行本数・運行時間帯・乗継割引に対する意見、継続希望の有無、自由意見 調査票は２２ページ参照
- ・調査日：

調査期間	曜日	調査時間帯	調査サンプル数(人)
9月4日	金	午前	130
9月9日	水	午前	144
9月10日	木	午後	122
9月15日	火	午前	144
9月16日	水	午後	129
9月28日	月	午前	141
9月29日	火	午後	122
10月5日	月	午後	119
10月8日	木	午前	77
10月15日	木	午前	160
10月16日	金	午後	150
合計			1438

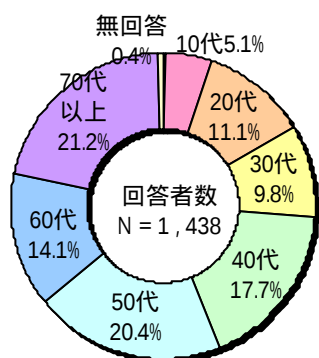
・アンケート回答者の属性

(性別)



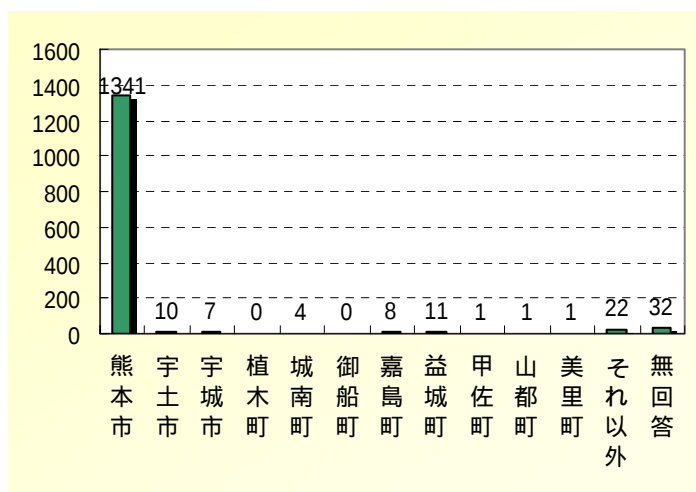
	回答数(票)	割合(%)
男性	417	29
女性	990	68.8
無回答	31	2.2
合計	1,438	100

(年齢)



	回答数(票)	割合(%)
10代未満	4	0.3
10代	73	5.1
20代	159	11.1
30代	141	9.8
40代	254	17.7
50代	293	20.4
60代	203	14.1
70代以上	305	21.2
無回答	6	0.4
合計	1,438	100

(居住地)



	回答数(票)	割合(%)
熊本市	1341	93.3
宇土市	10	0.7
宇城市	7	0.5
植木町	0	0
城南町	4	0.3
御船町	0	0
嘉島町	8	0.6
益城町	11	0.8
甲佐町	1	0.1
山都町	1	0.1
美里町	1	0.1
それ以外	22	1.5
無回答	32	2.2
合計	1,438	100

・利用者の行動特性

(利用目的)

東バイパスライナーの利用目的は、通勤が最も多く、次いで通院目的となっている。

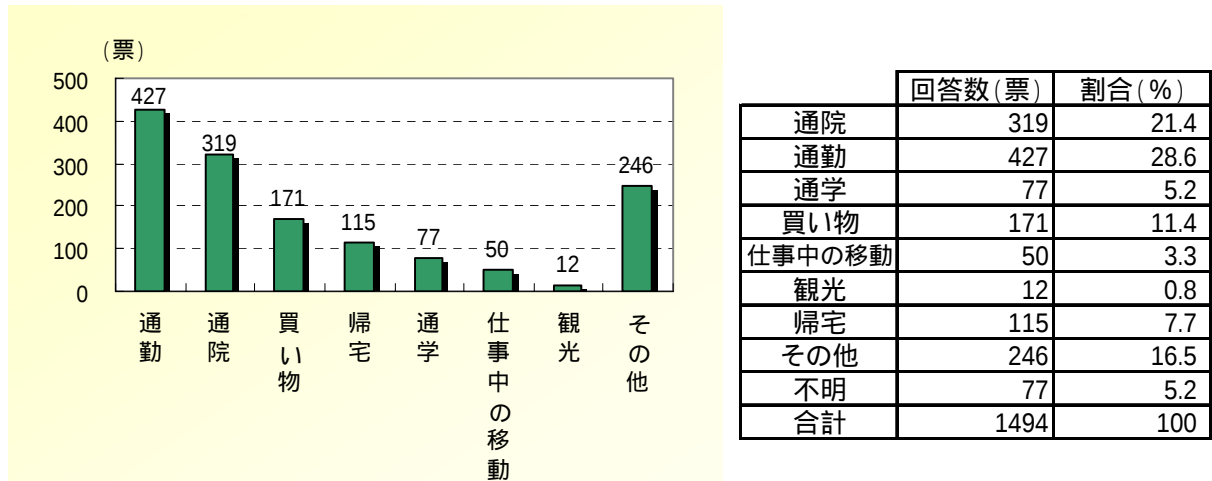
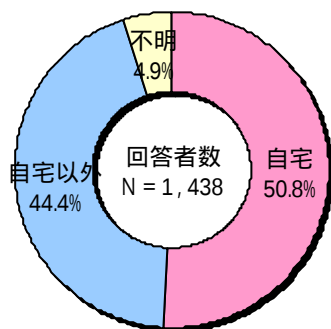


図7 東バイパスライナー利用時の利用目的(複数回答)

(出発地・目的地)

利用者の出発地は、自宅が約半数を占め、目的地は熊本市が約9割となっている。

(出発地)



(目的地)

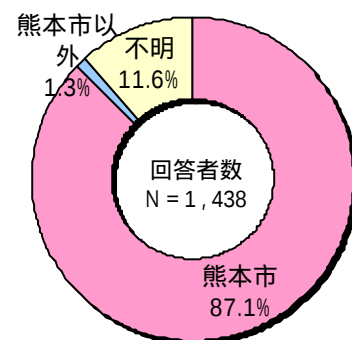
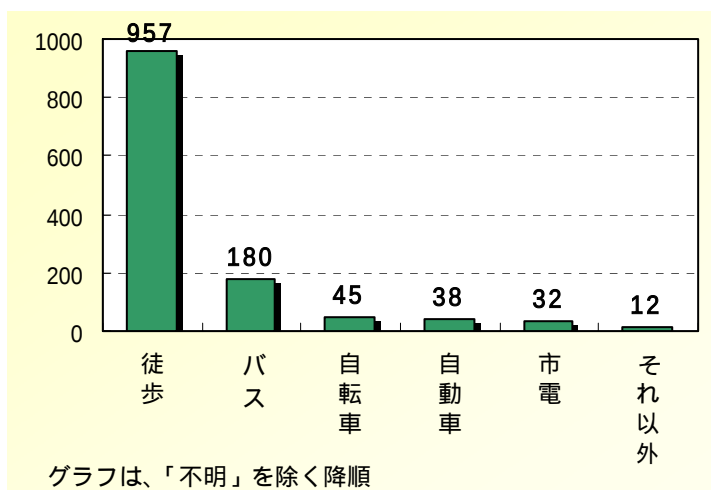


図8 東バイパスライナー利用者の出発地と目的地

(東バイパスライナー乗車バス停までの交通手段)

乗車バス停までの交通手段は、徒歩が約 7 割を占めており、バスからの乗り継ぎは約 12%となっている。

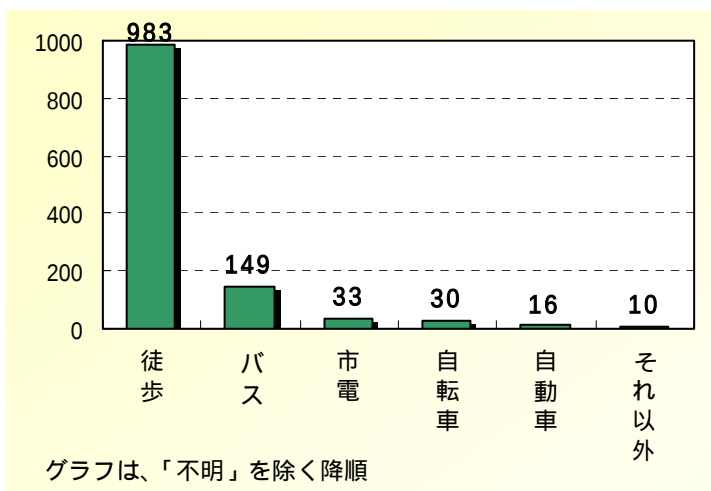


	回答数(票)	割合 (%)
徒歩	957	66.6
バス	180	12.5
自転車	45	3.1
自動車	38	2.6
市電	32	2.2
それ以外	12	0.8
不明	174	12.1
合計	1,438	100

図 9 東バイパスライナー乗車バス停までの交通手段

(東バイパスライナー降車バス停からの交通手段)

降車バス停からの交通手段は、徒歩が約 7 割を占めており、バスへの乗り継ぎは約 10%となっている。



	回答数(票)	割合 (%)
徒歩	983	68.4
バス	149	10.4
自転車	30	2.1
自動車	16	1.1
市電	33	2.3
それ以外	10	0.7
不明	217	15.1
合計	1,438	100

図 10 東バイパスライナー降車バス停からの交通手段

（既存路線バスと東バイパスライナーの乗継状況）

既存路線バスと東バイパスライナーの乗継状況は、ライナーから既存路線バス、既存路線バスからライナーともに10%程度であり、両方とも乗り継いでいる人は約2%である。

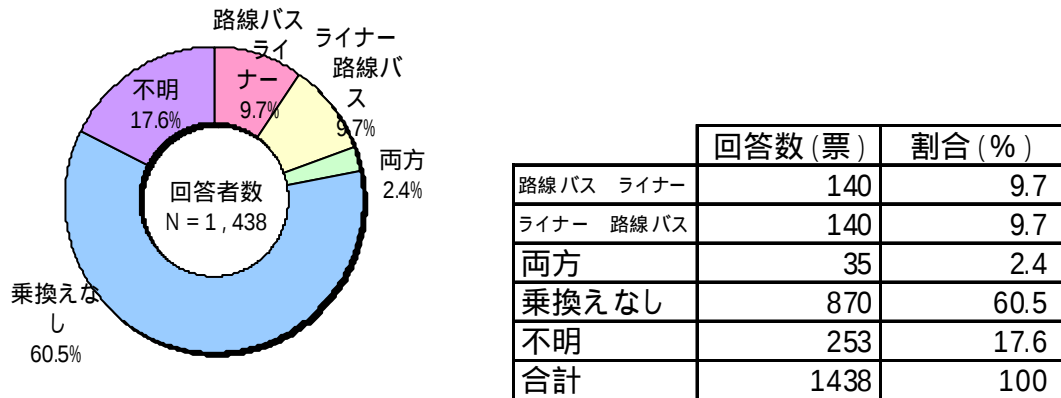
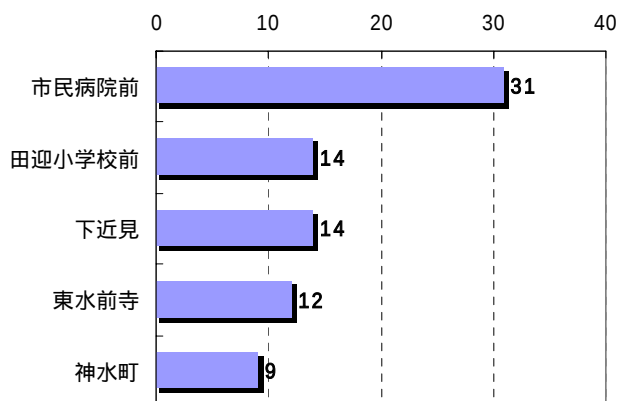


図11 路線バスと東バイパスライナーの乗継状況

（乗継対象バス停）

乗継対象バス停は、乗車バス停、降車バス停ともに市民病院前バス停が最も多くなっている。

（出発地 乗車バス停）



（降車バス停 目的地）

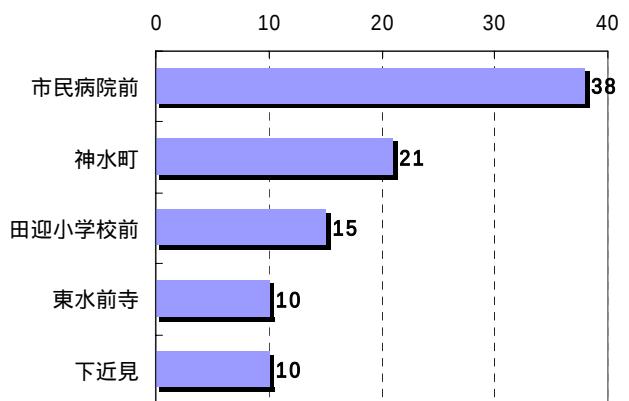


図12 乗継対象バス停（上位5位）

(東バイパスライナーのバス停間の通過人員)

東バイパスライナーのバス停間通過人員は、全体では、西部車庫・長嶺団地発とも熊本中央病院～市民病院前までが多くなっている。

全 体

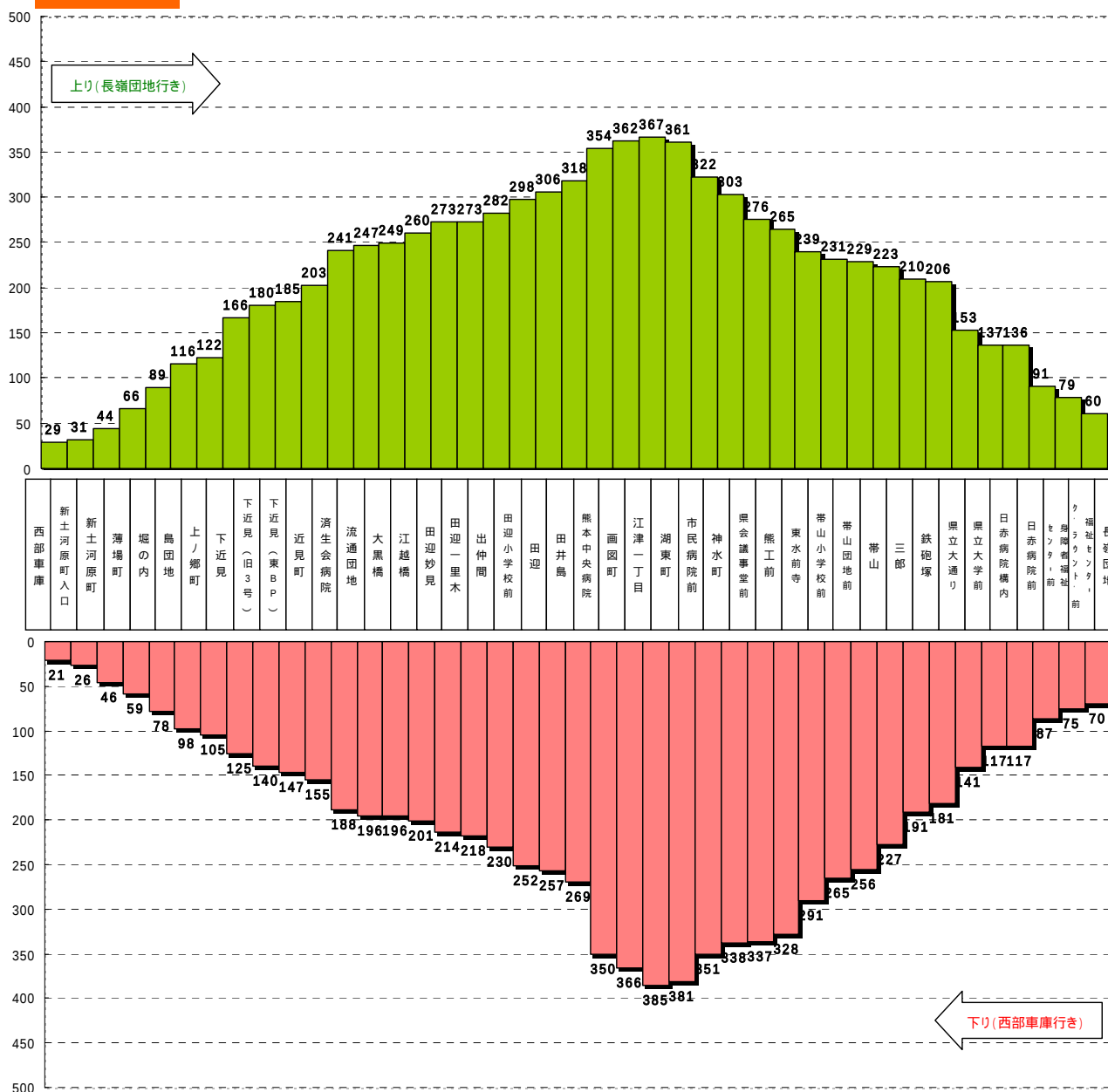


図13 東バイパスライナーのバス停間の通過人員(全体)

通院目的では、西部車庫発は、済生会病院で利用者が急増している。長嶺団地発では、東水前寺で急増し、熊本中央病院まで多くなっている。

通 院

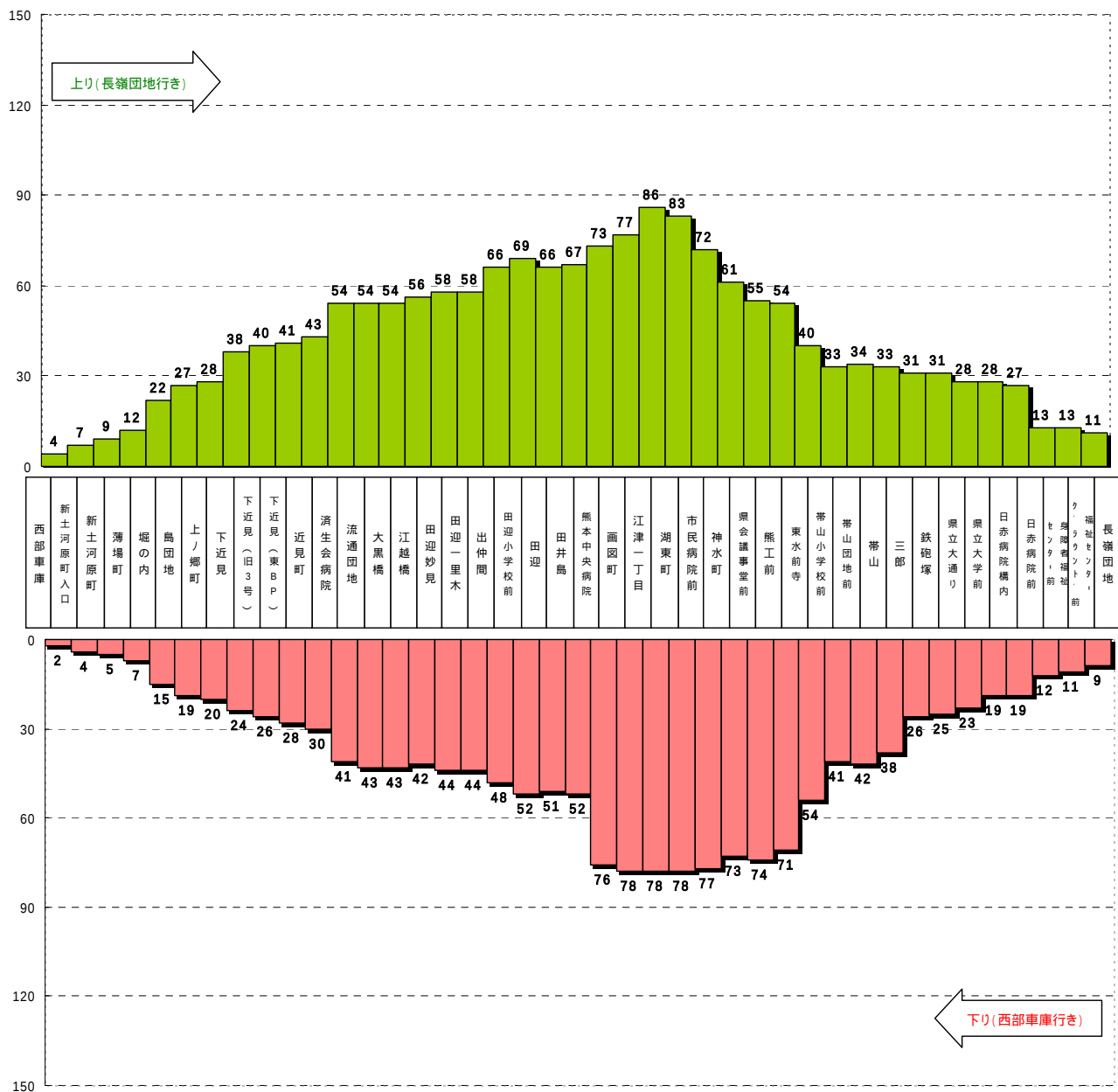


図14 東バイパスライナーのバス停間の通過人員（通院目的）

通勤目的では、西部車庫発は、下近見で急増し、湖東町まで増加する傾向にあり、長嶺団地発では、県立大通り以降急増し、県会議事堂前で一旦減少するものの、再度、江津一丁目まで増加している。

通勤

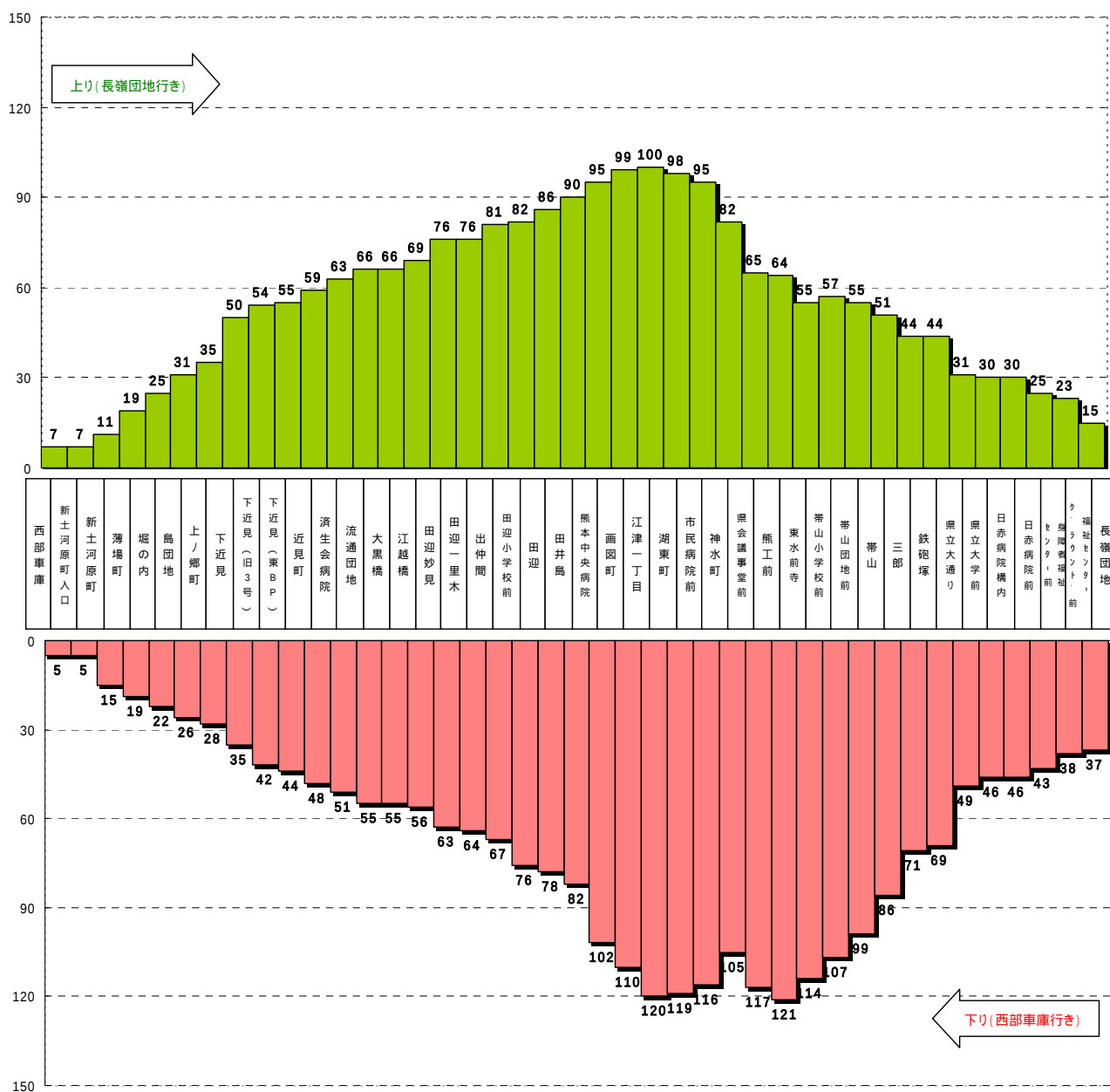


図15 東バイパスライナーのバス停間の通過人員(通勤目的)

買物目的では、西部車庫・長嶺団地発とも、熊本中央病院～市民病院前までの利用が多くなっている。

買い物

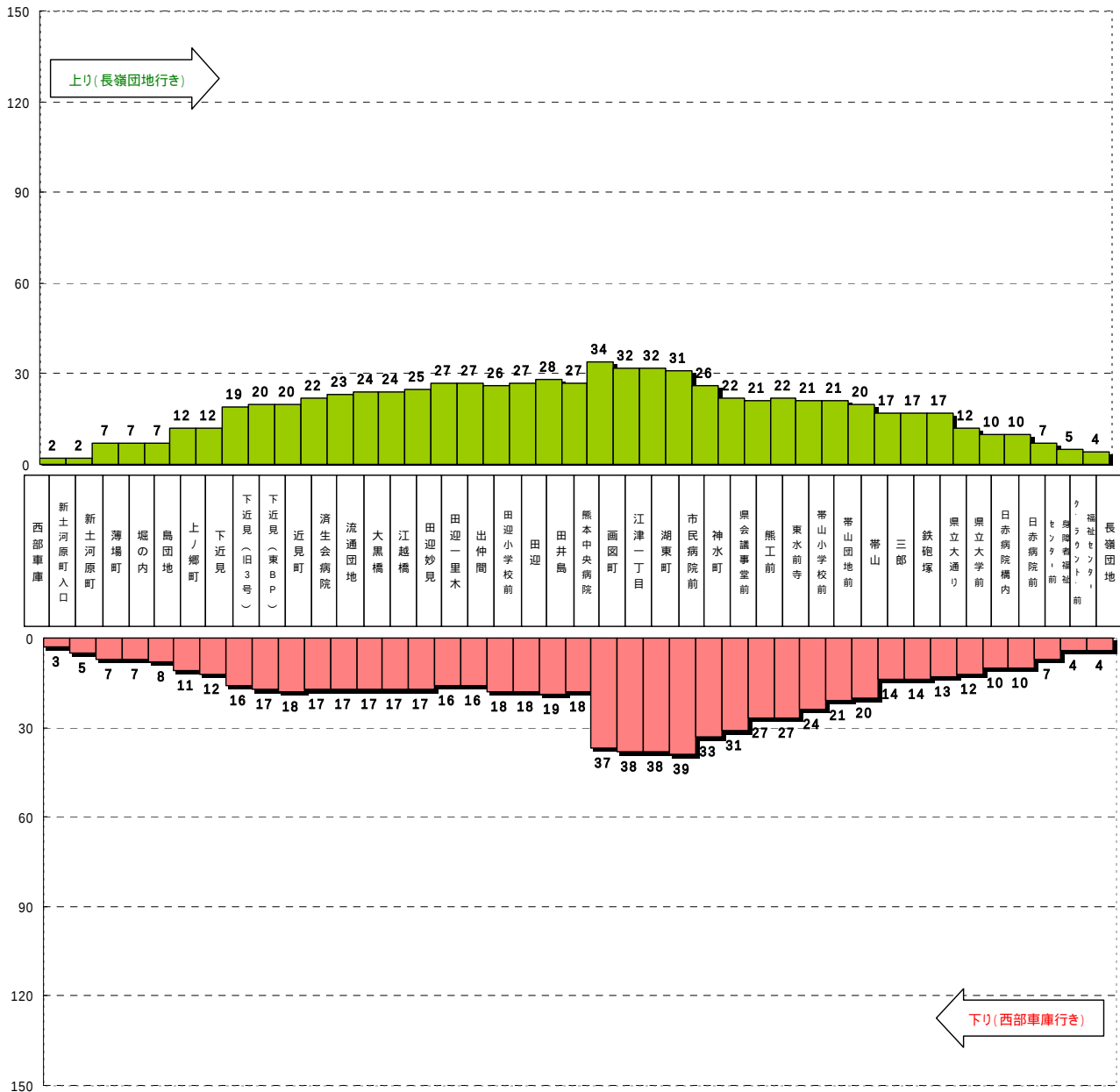


図16 東バイパスライナーのバス停間の通過人員(買物目的)

(東バイパスライナー利用者の目的別乗降OD 1特性)

東バイパスライナー利用者の地域間における移動状況について、熊本都市圏PT調査におけるゾーン区分に基づき、以下のとおりまとめた。

東バイパスライナー利用者の乗降ODは、下記の順位で多くなっている(上位10位)。

湖東・健軍周辺	～	田井島・出仲間周辺	107人
長嶺・帯山周辺	～	湖東・健軍健軍周辺	78人
湖東・健軍周辺	～	近見・川尻周辺	78人
水前寺・出水周辺	～	田井島・出仲間周辺	70人
長嶺・帯山周辺	～	田井島・出仲間周辺	61人
水前寺・出水周辺	～	湖東・健軍周辺	57人
水前寺・出水周辺	～	近見・川尻周辺	54人
田井島・出仲間周辺	～	近見・川尻周辺	54人
水前寺・出水周辺	～	長嶺・帯山周辺	42人
長嶺・帯山周辺	～	近見・川尻周辺	27人

全 体

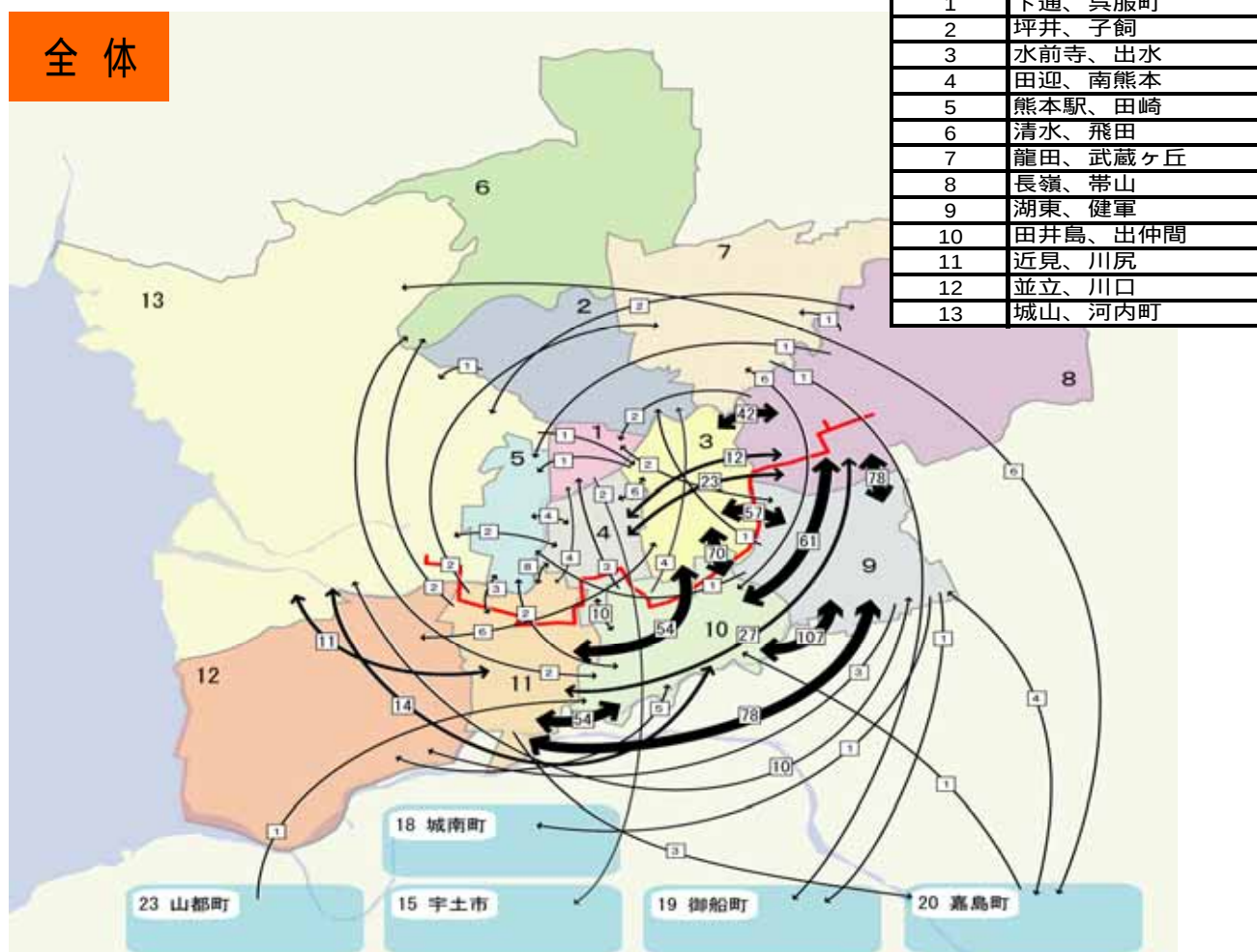


図17 東バイパスライナー利用者の全体OD特性

1 ODとは、起点(Origin)と終点(Destination)の組み合わせのこと。

東バイパスライナー利用者の通院目的ODは、湖東・健軍周辺～近見・川尻周辺(20人)、湖東・健軍周辺～田井島・出仲間周辺(17人)、田井島・出仲間周辺～近見・川尻周辺(16人)、長嶺・帯山周辺～湖東・健軍周辺(15人)、長嶺・帯山周辺～田井島・出仲間周辺(13人)の順となっている。

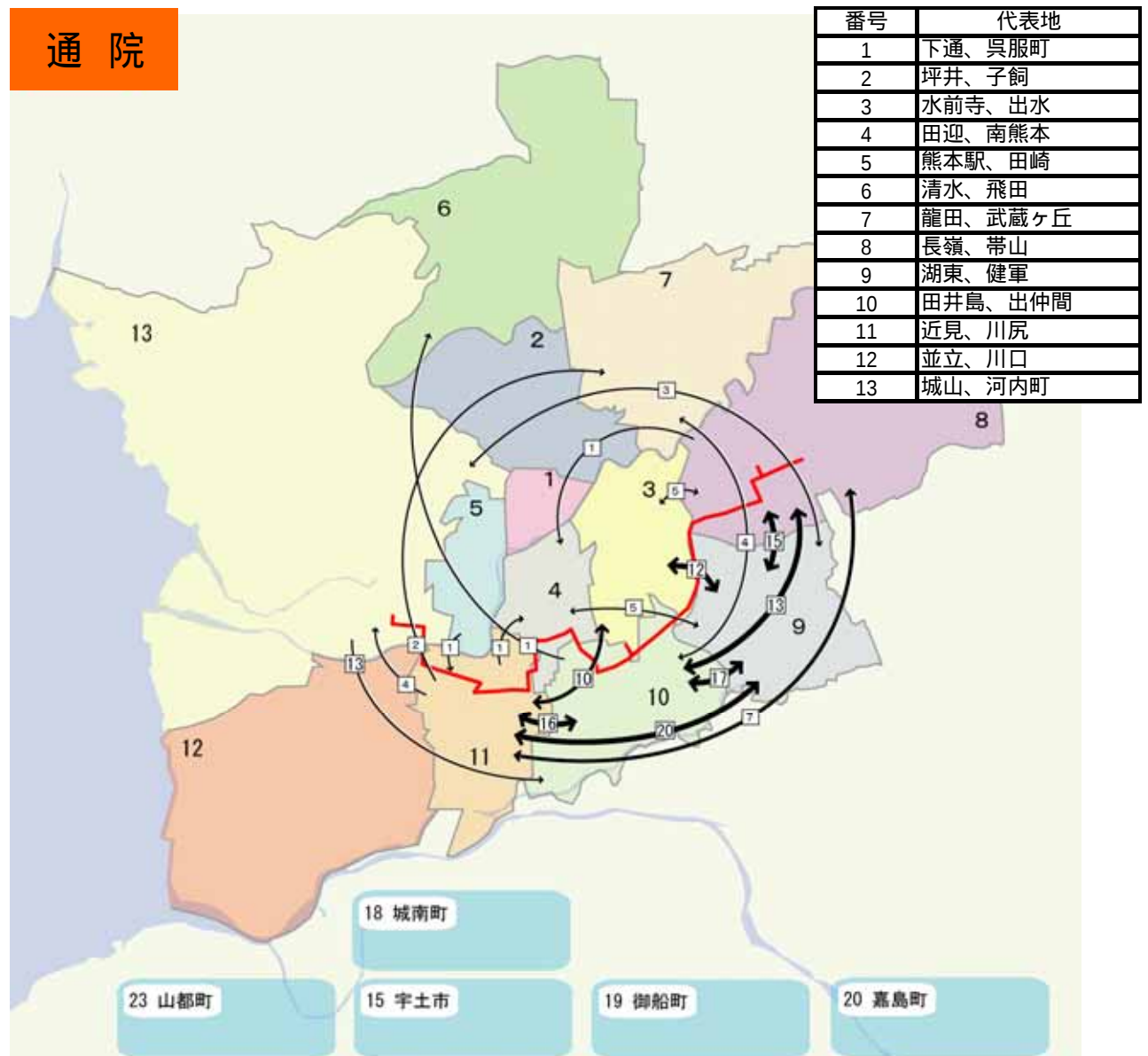


図18 東バイパスライナー利用者の通院目的OD特性

東バイパスライナー利用者の通勤目的ODは、水前寺・出水周辺～近見・川尻周辺（34人）、湖東・健軍周辺～田井島・出仲間周辺（30人）、水前寺・出水周辺～田井島・出仲間周辺（29人）、水前寺・出水周辺～長嶺・帯山周辺（26人）、水前寺・出水周辺～湖東・健軍周辺（26人）の順となっている。

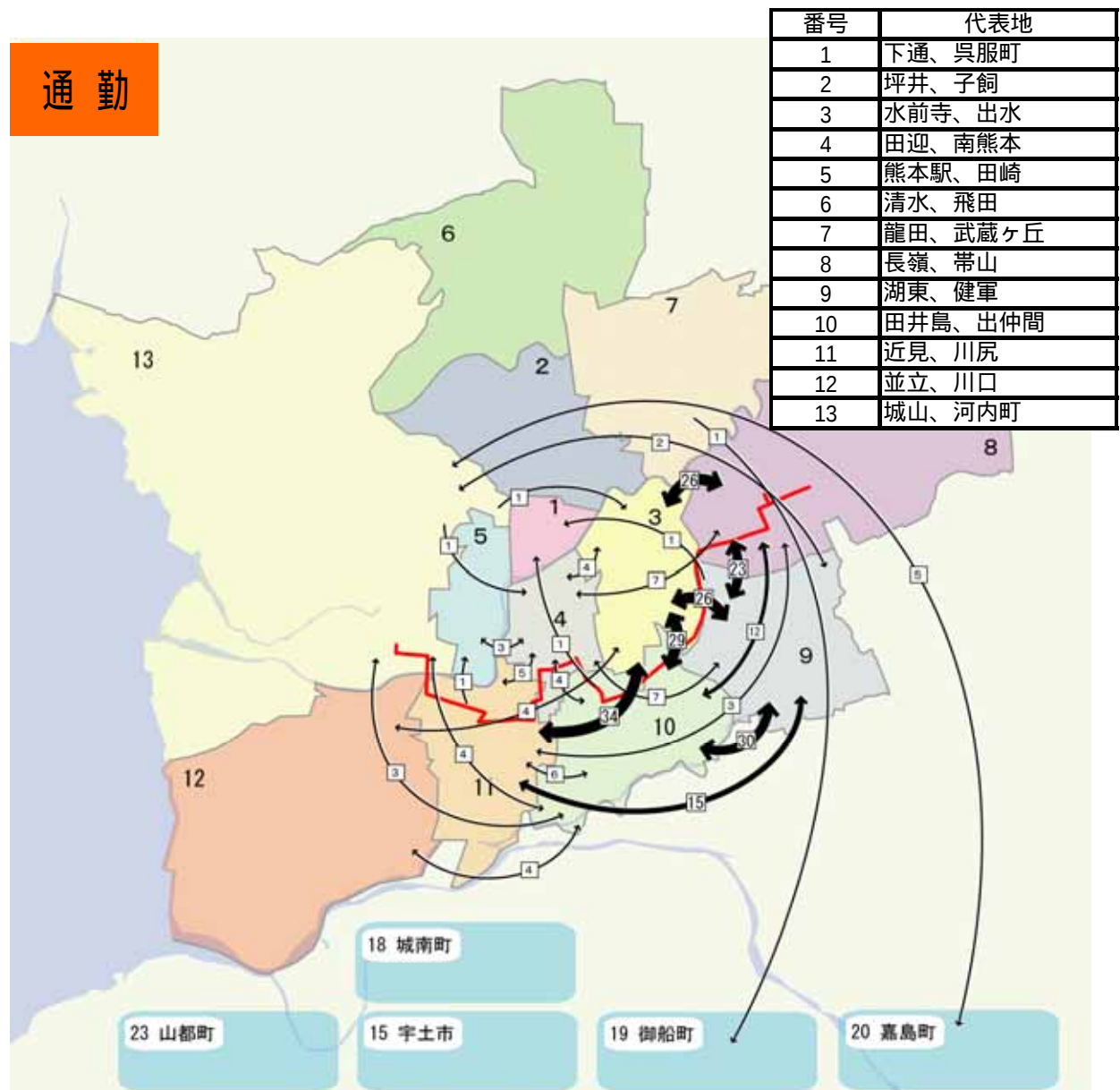


図19 東バイパスライナー利用者の通勤目的OD特性

東バイパスライナー利用者の通勤目的ODは、湖東・健軍周辺～田井島周辺（19人）、田井島・出仲間周辺～近見・川尻周辺（14人）、長嶺・帯山周辺～田井島・出仲間周辺（11人）の順となっている。

買い物

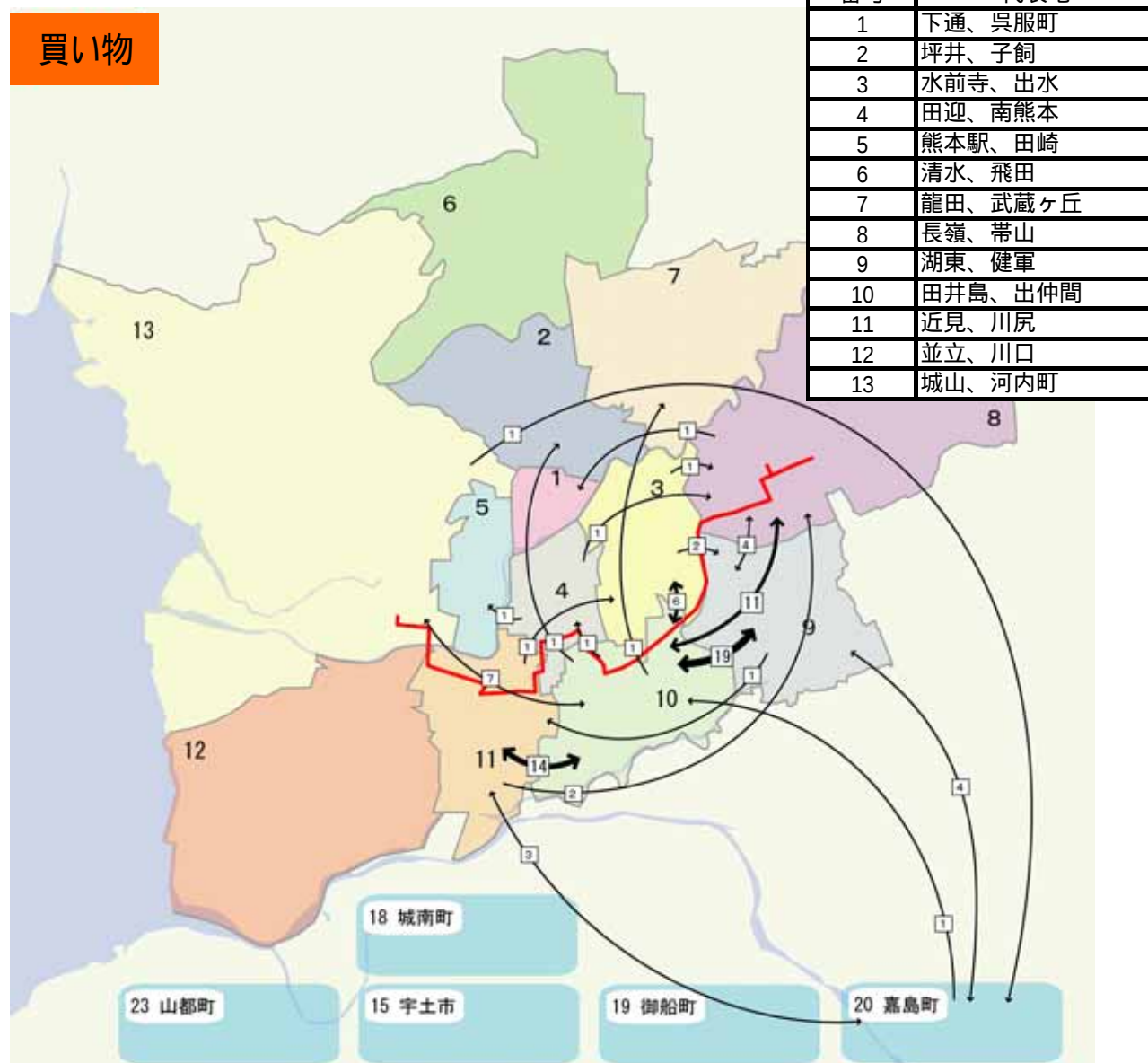


図20 東バイパスライナー利用者の買物目的OD特性

・乗継に対する問題点（任意回答）

路線バスと東バイパスライナーの乗継に対する問題点として、接続ダイヤに対する要望が最も多く約 5 割を占め、次いで待合環境となっている。

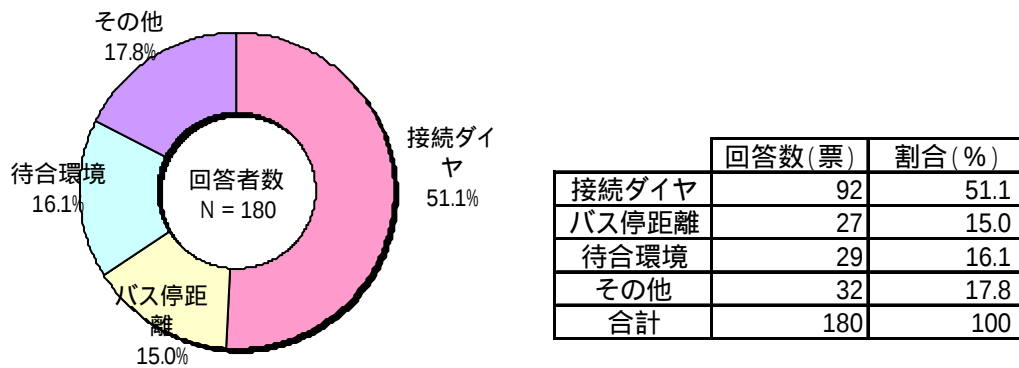


図 2 1 乗り継ぎに対する問題点

・東バイパスライナーのサービス水準について

東バイパスライナーのサービス水準は、路線設定に対しては約 8 割の人が適当と答えているものの、運行本数や運行時間帯に対しては、約 1 割の人が不適当と回答している。乗継割引に対しては、不適当と回答した人が約 2%と低くなっている。

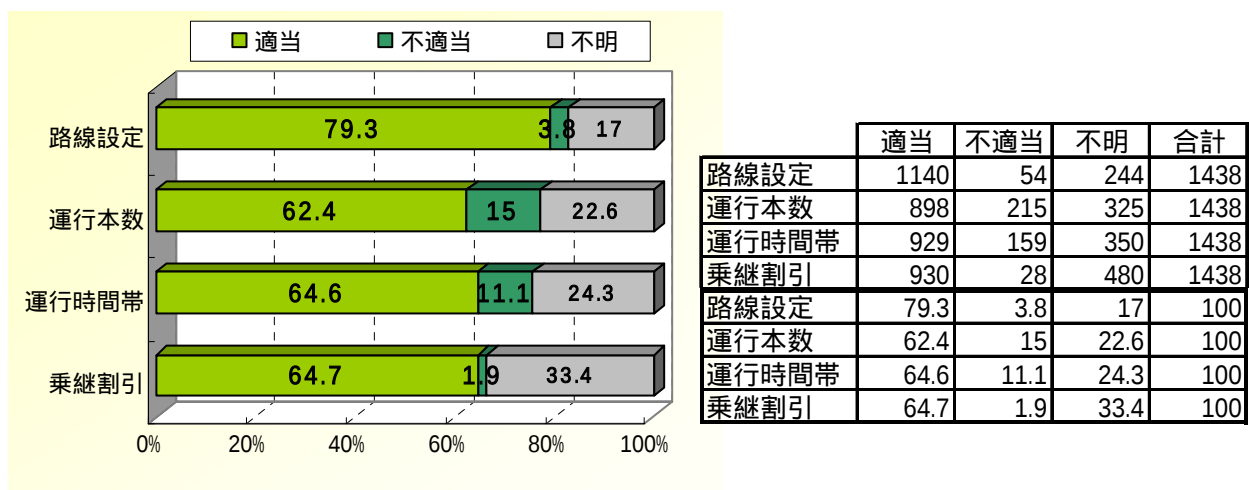


図 2 2 東バイパスライナーサービス水準について

問合せ件数など

9 / 1 ~ 11 / 30 : 全 163 件

問合せ内容の内訳

- ・要望に関しては、路線の存続等に関する問合せが多い
- ・質問に関しては、ダイヤやバス停の位置、さらには乗継に関する問合せが多い

	路線 について	運賃 について	ダイヤ について	乗継 について	バス停 について	その他	合計
要望	12	2	3	3	2	2	24
質問	25	16	38	27	29	9	144
苦情	2	1	5	1		4	13
御礼	6					3	9
合計	45	19	46	31	31	18	190

問合せ内容は 1 件あたり複数の場合もあり、合計は一致しない

主な問合せ内容

(要 望)

- ・路線について：12 月以降の継続運行、路線の変更・延伸 など
- ・運賃について：定期券の利用 など
- ・ダイヤについて：土日の運行 など
- ・乗継について：空港リムジンや JR との乗り継ぎ強化 など
- ・バス停について：新たなバス停の設置（近見～済生会病院間） など

(質 問)

- ・路線について：12 月以降の運行予定、行き方（砥用～済生会等） など
- ・運賃について：さくらカードの使用、定期券の有無、利用区間の運賃 など
- ・ダイヤについて：バス停の時刻表、車イス利用に対応した車両 など
- ・乗継について：目的地に行く際の利用方法、乗継の仕方、割引制度 など
- ・バス停について：バス停の位置、乗り継ぐ際のバス停の位置 など

(苦 情)

- ・路線について：北部地域への路線の導入 など
- ・運賃について：さくらカードが使用できなかった など
- ・ダイヤについて：午後の便が少なく不便、ダイヤの遅延 など
- ・乗継について：制度の分かりにくさ など

(御 礼)

- ・路線について：大変便利になった など

広報活動

沿線住民、企業、病院等へのポスター、チラシ、ポケット時刻表の配布、及び実証実験、既存路線バス車内での掲示の実施。

沿線の事業所に利用を呼びかける個別訪問。

沿線の病院や学校等へのチラシの配布。 など

市政だより、新聞、テレビ、ラジオ等の広報は以下のとおり。

- ・ 市政だより： 9月号掲載
： 12月号掲載（12月以降の運行に関して）
- ・ 新聞： 8/30 熊日朝刊 半5段
- ・ デリすば 公共交通利用促進キャンペーンとタイアップした告知。 9/18 配布
- ・ テレビ： 9/27 10：45～（7分間）熊本放送「わくわく熊本市」
10月 ケーブルテレビ（特集）での告知
11/11 熊本放送「わくわく熊本市」での告知
- ・ ラジオ： 8/25 エフエム熊本「フレッシュフラッシュ熊本」
8/26 エフエム熊本「I LOVE WOMAN」
8/28 熊本シティエフエム「おはよう熊本市」
8/31 熊本放送「とんでるワイド今日も元気」
9/22 エフエム熊本「フレッシュフラッシュ熊本」
9/30 エフエム熊本「I LOVE WOMAN」
11/2 熊本放送「とんでるワイド今日も元気」
11/3 エフエム熊本「フレッシュフラッシュ熊本」
- ・ チラシ配布： 沿線世帯等へ約5万枚、9月企業訪問95社
- ・ ポケット時刻表配布： 沿線事業所（9月）
- ・ インターネット： 市及びバス事業者のホームページ掲載

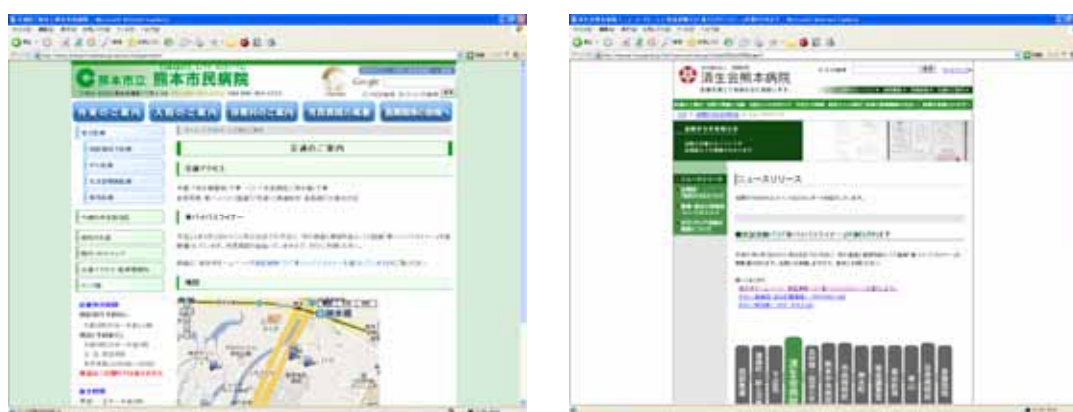


図2-3 各病院等のHP上での東バイパスライナー利用の呼びかけ状況

とりまとめ

上記に示した実証実験結果を踏まえ、今後、東バイパスライナーの利用促進にあたっての課題等についてとりまとめた。

東バイパスライナー利用者の多くが、出発地からバス停までの移動手段、もしくはバス停から目的地までの移動手段として徒歩となっている。

その結果、利用者の多くが沿線地域の人となっており、熊本市外からの利用者はほとんど見られない。

また、路線設定や乗継割引に対する指摘は少ないものの、乗り継ぎに対する問題として、“接続ダイヤ”に対する意見が多くなっている。



接続ダイヤ等の見直しによる、乗り換え利便性の向上が必要

東バイパスライナーの便別利用者数では、朝の通勤通学時間帯が他の時間帯に比べて飛び抜けて多くっており、そのほとんどが通勤目的と考えられる。

しかし、現在、通勤で最も利用されている「市民病院前バス停」や「県会議事堂前バス停」への到着時刻は 8 時頃（西部車庫発）となっており、時間的な問題が生じている可能性もある。

一方、昼間時間帯においては、通院や買物目的で多く利用されているが、1 便あたりの利用者数が 5 人程度と少なく、20 時以降の便では、2 人/便以下とほとんど利用されていない状況である。

通勤目的や通院・買物目的など、利用者の移動に即したダイヤ設定等を行うことで、利用者サービスが向上し、さらなる利用促進が期待されるとともに、バス事業者の運行効率性の向上も期待される。



利用者の移動に即したダイヤ設定等によるサービス及び運行効率性の向上が必要

(2) 1 2 月以降の運行について

事業概要

9 ～ 11 月までの利用状況を踏まえ、“ 通勤利用者のための朝 6 時台の便を新設 ”、“ 朝夕ラッシュ時以外は 1 本/時間 ”、“ 20 時台の便を廃止 ”を実施し、12 月から新たな設定のもと、運行を行うこととした。

以下に、12 月以降の運行の事業概要を示す。

運行期間：平成 2 1 年 1 2 月 1 日～平成 2 1 年 1 2 月 2 8 日

(H 2 2 . 1 以降については検討中)

ダイヤ：始発 6:45 を新設。15 往復 30 便/日。終発 19:30。

(長嶺団地発、西部車庫発ともに同じ)

運 行 日：平日運行 (土曜、日曜、祝日、12/29 ～ 12/31 は運休)

運行事業者：九州産交バス・熊本電鉄バス・熊本バス・熊本都市バスによる共同運行

運 賃：従来とおり

そ の 他：乗継半額割引は終了

利用者数

12 月第 1 週 (12/1 ～ 12/4) 長嶺団地発 + 西部車庫発

		12/1 (火)	12/2 (水)	12/3 (木)	12/4 (金)	合計	1 日当り平均	1 便当り平均
利用者数		309	336	320	312	1,277	319.3	10.6

1 2 月第 2 週 (12/7 ～ 12/11) 長嶺団地発 + 西部車庫発

	12/7 (月)	12/8 (火)	12/9 (水)	12/10 (木)	12/11 (金)	合計	1 日当り平均	1 便当り平均
利用者数	294	301	311	399	357	1,662	332.4	11.1

12 月合計 (12/1 ～ 12/11)

	合計	1 日当り平均	1 便当り平均
利用者数	2,939	326.6	10.9

実証実験バス「東バイパスライナー」 利用者アンケート

熊本市では、お客様にとって利用しやすいバス路線網とするため、実証実験におけるアンケート調査を実施しています。お忙しい中大変恐縮ですが、調査にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

下記の問について、該当するものに「○」を付け、()内に必要事項をご記入ください。

問1 あなたの年齢は？

10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

問2 あなたの性別は？

1.男性 2.女性

問3 あなたのご住所は？

1.熊本市()丁目・町
2.宇土市 3.宇城市 4.植木町 5.城南町 6.御船町 7.嘉島町
8.益城町 9.甲佐町 10.山都町 11.美里町 12.それ以外()市・町・村

問4 東バイパスライナーにおいて、乗ったバス停、降りるバス停などについてお尋ねします。

1)から6)の問いにお答えください。

1)出発地について 1.自宅 2.自宅以外 →施設の名称() 施設の場所 熊本市()丁目・町 それ以外()市・町・村	6)目的地について 1.自宅 2.自宅以外 →施設の名称() 施設の場所 熊本市()丁目・町 それ以外()市・町・村
2)この間の交通手段について 1.市電 2.バス 3.自動車 4.自転車 5.徒歩 6.それ以外()	5)この間の交通手段について 1.市電 2.バス 3.自動車 4.自転車 5.徒歩 6.それ以外()
3)乗車したバス停 ()	4)降車するバス停 ()

東バイパスライナー

問5 今回の東バイパスライナーの利用目的は何ですか？

1.通院 2.通勤 3.通学 4.買い物 5.仕事上の移動 6.観光 7.帰宅 8.その他()

問6 東バイパスライナーと既存バスや市電を乗り継がれた(または、乗り継がれる)方に乗継ぎにおける問題点をお尋ねします。(複数回答可)

1.乗継ぐバスへの接続ダイヤ 2.バス停間の距離 3.バス停の待合環境
4.その他()

問7 「東バイパスライナー」についてお伺いします。

1) 路線の設定について	1. 適当	2. 不適当 (理由:)
2) 運行本数について	1. 適当	2. 不適当 (理由:)
3) 運行時間帯について	1. 適当	2. 不適当 (理由:)
4) 乗継割引について	1. 適当	2. 不適当 (理由:)

問8 今回の実証実験について、また、その他バスに関することについてご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

